

1

PCミニボイスドラマ+ピンナップイラスト

(SE 襖(?)をあける音)

恭一郎「真田、入りますよ」

真田「(少し間があって) ……すう(寝息)」

恭一郎「(呆れたように) なんでこの人は寝てるんだらうね。確か、隊士等と夕餉を一緒するって言ってなかった？」

東堂「おや、恭一郎君。どうされましたか？」

恭一郎「ああ、これは東堂先生。実は真田を呼びに来たのですが……」

東堂「これは…(部屋の中を見てる間) ……だいぶお疲れのようですね。そっとしておいては？」

恭一郎「そう云う訳にはいきません。それに、行儀も悪いですし」

東堂「確かに、書き物の途中で仰向けに倒れるというのは……
(苦笑)」

恭一郎「柳生さんももう少しきちんと監視しておかないと、今度は外に抜け出して寝ちゃうんじゃないかな？」

(SE ガタツと言う物音)

東堂「(くすり) 彼女ならばそのような心配はないでしょう」

恭一郎「そうだと良いですが……さて、起こしましょう」

東堂「……恭一郎君。その手にあるのは？」

恭一郎「筆ですよ♪ こういう場合、寝てる人が悪——」

真田「恭……もう、起きてる。つか、起こすなら普通に起こしてくれ」

(SE 布擦れ)

恭一郎「おや、起きてしまいましたか」

真田「心底残念そうにしてんじゃねえ！」

東堂「真田君。隊士の皆さんがお預けをくって待ってらっしゃるそうですよ」

真田「東堂さんも呼びに来たのか？ こりや、すまねえ」

東堂「いえいえ、私は通りかかっただけです」

恭一郎「ちなみに、既に殺気立って暴れそうな隊士もいましたよ？」

真田「おめえはもう少し早くそう言う事を言え！ こうしちやいれねえ!!」

(SE ガタツと物音)

真田「おっとそうだ！」

東堂「どうしました？」

真田「東堂さん、あんたも一緒に如何だ？ 美味しい夕餉って訳にやあいかねえが、賑やかでいい飯が食えると思うぜ」

東堂「これは嬉しいお誘いですね」

恭一郎「……誘う必要ないでしょうに」

真田「取り分が減るからって黙ってる！ (咳払いの後、優しく) どうだろうな、東堂さん？」

東堂「(考える間) ではお言葉に甘えてお邪魔致しましょう」

真田「おっ、ありがてえ！ んじゃあ、先に行って皆に知らせてくる！ あんたらも早く来てくれよ！」

(SE 駆けて行く足音)

恭一郎「屯所内は駆け足禁止ですよ……って、聞こえてないですよね」

東堂「明るい良い人柄じゃないですか。私は嫌いではないですよ？」

恭一郎「僕は好きですけどね」

東堂「おやおや」